

フォークリフトによる労働災害防止のための研修会のまとめ

～会社が抱えるフォークリフトの課題と対策～

令和7年12月1日、一般社団法人佐久労働基準協会との共催により、佐久地区トラック研修会館において、「フォークリフトによる労働災害のための研修会」を開催いたしました。フォークリフト運転者だけでなく、フォークリフトの管理者、安全管理者等の約50名の方が出席されました。

本リーフレットでは、当日のグループワーク時に作成された「**フォークリフト作業時の課題と対策**」において挙げられた事例を紹介いたします。日頃の安全衛生活動にご活用いただき、自社の管理・運用体制について再確認をお願いいたします。



挨拶を行う岩國署長



参加者によるグループワーク



講師による実演の様子

課題

【人・建築物等への激突】

- 運行範囲が周知できていない
- 誘導者の配置が不十分、配置していない
- カーブがあり、見通しが悪い
- 通路が狭隘である
- 標識が不十分で、運行経路があいまい
- 倉庫が暗い
- トラックやトラック運転手と接触する
- 歩行者がフォークリフトの接近に気付かない

【フォークリフトの転倒】

- 荷を上げた状態で後退、旋回し、転倒した
- フォークに荷を積み過ぎて、機体が浮いた
- 運行経路が坂道となっている

【荷の崩壊・倒壊】

- 運行経路上に段差がある
- 運搬中に荷が揺れて、荷崩れのおそれがある
- 棚の後方に壁がない
- 棚にパレットを置くときに、荷が落下しかけた
- 一部破損したパレットがある

【教育・作業計画・ルール】

- 作業計画を作成していなかった
- 他部署の労働者への運行範囲の周知不足
- 専属オペレーターがいない
- 新しく購入したフォークリフトの操作ミス
- 鍵が刺さったままになっていた

対策

【人・建築物等への激突】

- 運行範囲や歩行者通路を白線等で明示する
- 誘導者を指名、配置する
- カーブミラーを設置する
- 制限速度を定める、レイアウトを見直す
- 「止まれ」等の標識を設置する
- 倉庫内にLED照明を設置する
- トラックの停止位置を明示し、運行経路を共有
- 交代時、旋回時等にクラクションを鳴らす

【フォークリフトの転倒】

- フォークを最低降下位置にする
- 積載する荷の量を半分にするようルール化する
- 制限速度を設ける

【荷の崩壊・倒壊】

- 簡易セメントで段差を解消する
- 荷崩れ防止フィルム等を用いる
- 棚の後方に網や覆いを設置する
- つめレーザーを設置し、水平を確認する
- パレットの点検、点検済みを色分けする

【教育・作業計画・ルール】

- 作業計画を作成して、周知する
- 新人や他部署に再度周知する
- リフトの能力、ヒヤリハット事例等の定期教育
- 操作マニュアルを作成し、教育する
- 鍵の管理者を選任し、管理者が鍵を持つ
- 安全パトロールを実施する

